

聖パウロ学園 同窓會會報

第2号

平成4年7月20日発行

—発行所—

聖パウロ学園内
同窓会事務局

〒525

草津市野路町178

☎0775-64-5600

新しい時代へ向って

会長 西堀 大介



本同窓会はこのたび、第二期生一四〇名の新会員を迎えました。

また、母校においては三月、開校以前、設立準備の時代から母校のために尽くしてこられた寺西校長先生が勇退され、山田理事長先生が学校長に就任、また、川崎副校長先生も退任され、宇部副校長先生、服部教頭先生が就任されるなど、大幅な移動がありま

また、母校においては二期生一四〇名の新会員を迎えました。さらに進学実績も、大学・短大で一・七倍の伸びを示しました。まさに、創期から発展期へ母校が移りつつある、ということではないでしょうか。

ご挨拶

名誉会長 山田 右



同窓会員の皆様方には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はなにかと母校発展のために力強いご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

寺西校長の定年退職を受け、四月一日付をもちまして校長を兼任いたすことになりました。

また、川崎副校長の退職

基盤造りに尽力していただいた寺西校長の業績を汚すことなく、宇部先生をはじめとする御三人の力をお借りし、本学園のさらなる充実発展のため一層の努力を傾けたいと存じます。

さて、母校の近況をご報告いたします。

まず中等部ですが、九〇名中八五名が高等部へと進みました。一方新入生二二九名を迎え、生徒総数三四〇名となり、中等部はほぼ学則定数を満すところとなりました。年々県外からの志願者が増加し、入学者数

退職の御挨拶

前名誉会長 寺西 弘教



開校時の生徒の皆さんの状態に私は最初途惑いしました。しかし、その一人ひとりと話し合ったとき、純粋な素晴らしい人間性に触れ、私は人間は信すべきものであるということをはっきり意識したのでした。

私は元々、余り意識しない状態で人を信じてきました。それは十台の頃から多くの方々が私を無条件に助けて下さったことによるものだと思います。例えば、私が会社(一部上場)に勤めていた時、アメリカで裁判をしなければならぬ非

常に困難な事件が起りました。そこで、その七・八年前から色々助言を受けていた、親会社(技術力、開発力で世界のトップレベルの超一流企業)の技師長にアメリカの弁護士への紹介状をお願いしたのでした。その方は年に六・七回アメリカやヨーロッパに出張され、ニューヨークの優れた弁護士と十数年の親交があったのです。ところがその技師長は、アメリカ出張のスケジュールに随分無理をしてニューヨークにわざわざ立ち寄り、私と共にその弁護士を訪ね、事件についての助言までして下さいました。お陰でその弁護士は実際に親切に一所懸命にやってくれ、裁判は完勝することができました。私はその



海外旅行・国内旅行・観光バスの御用命は
近江鉄道草津旅行センター

(所長 植田 重弘)



草津市大路1-1-1 L'ty932 1F

TEL 0775-65-8103 FAX 0775-64-6450